

# JLEM News Letter Vol.22



## 第27回日本語教育方法研究会開催

発表 30 件

第28回は早稲田大学にて

2006年9月23日(土)、第27回日本語教育方法研究会が仙台市国際交流センターで開催されました。

才田いずみ先生はじめ、東北大学のスタッフの皆さま、大変お世話になりました。

前日9月22日に運営委員会が開かれました。内容については、このレターの記事をご覧ください。

なお、次回の研究会は、2007年3月17日(土)早稲田大学において開かれます。みなさまふるってご参加ください。

### 開催を終えて

才田 いずみ  
(東北大学)

第27回研究会が2006年9月23日(土)に仙台市国際交流センターにて開催されました。今回は東北大学大学院文学研究科言語科学専攻が展開している「魅力ある大学院教育イニシアティブ」事業「言語研究者・言語教育者養成プログラム」との共催という形で行われました。東北仙台での開催ということで多くの方に参加していただけるかどうか心配でしたが、当日は天候にも恵まれ、100名を超える皆様にご参加いただき、

無事成功裏に終了することができました。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。内容は、藤光由子氏のご講演と口頭発表10件・ポスター発表30件という盛りだくさんでバラエティに富んだものとなりました。また、共催ということもあり、広い会場でゆったりと発表・議論を行うことができ、有意義な時間をお過ごしいただけたのではないかと思います。その一方で、事務局となつてはじめての研究会でもあり、運営の不手際で皆様にはご迷惑をお掛けしたことと思います。改善のための御意見などがございましたら事務局までお願い致します。ありがとうございました。

### 次回開催にあたって

戸田貴子  
(早稲田大学)

今回は2007年3月17日(土)に早稲田大学で開催いたします。この年、早稲田大学は125周年を迎えます。125年という一見中途半端な数字が重要な節目として考えられているのは、創立者の大隈重信が「人生125歳説」を唱えていたためです。

この説の根拠は、すべての動物は成長期の5倍の生存力を持っており、人間の場合25歳の5倍と考えると寿命は125歳になり、「適当なる摂生をもってすれば、この天寿をまっとうできる」ということです。これにならって、大隈講堂の塔も125尺に設計されています。

次回研究会は早稲田大学で年二回開催されている「日本語教育と音声研究会」との共催として開催することになりましたが、運営に関しては前回と同様に行われます。会場は大隈講堂や大隈重信像がある西早稲田キャンパス(新宿区)です。都の西北に、是非皆さまお誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

### 運営委員会報告

第27回大会前日の9月22日19時より、仙台市内で運営委員会を行いました。審議事項は以下のとおりです。

#### (1) 運営委員会委員について

現在の運営委員の任期が全員2007年3月末までとなっています。運営委員就任希望者募集についてのお知らせを前号のニュースレターに掲載しましたが、自薦・他薦ともに1件もありませんでした。引き続き、ニュースレター等でJLEM運営への会員の積極的な参加をお願いしていくことが確認されましたが、務めた任期の浅い委員

には来期もお務めいただきたい、という意見が出されました。

### (2) 次回会場と今後の会場

今回の第28回研究会は、早稲田大学を会場に3月17日(土)に行うことになりました。大会実行委員は戸田貴子氏です。なお、戸田実行委員より、会場確保との関係で「日本語教育と音声研究会」との共催にしたい旨の申し出があり、審議の結果、承認されました。

なお、その次の第29回は、京都教育大学で行われる予定です。

### (3) 会誌の合本の制作

会誌のバックナンバーは、残部の多少があっても一律ではありません。今回、不足する号のコピーを作り、1号から20号まで10年分の合本を作ることになりました。価格は送料込みで15,000円です。購入希望の方は本号やHPのお知らせを参照の上、事務局までお申し込みください。

### (4) 連絡先不明会員への対応

連絡先不明の会員は、さほど人数も多くないので、ニューズレターに掲載し、ご本人あるいは会員からの消息情報を待つことにしました。

### (5) 日本語教育学会奨励賞

#### 30万円の用途について

会誌の電子化やPDFファイル化を考えるとという案が出され、とりあえず、PDFファイル化にはどの程度のお金がかかるか、検討してみました。

### (6) その他

入会希望者への対応について、会計年度の終了間際の12月などを除き、入会希望が出されたら、速やかに会員となつていただくことにしました。

(文責：才田いずみ)

## 会誌 (合本) 販売のお知らせ

会誌バックナンバー合本(2冊組)を部数限定で販売致します。設立当時のバックナンバーや在庫切れのバックナンバーも含んだ貴重なものです。ぜひ、この機会にご購入をご検討ください。

#### 収録会誌：

vol.1 (1993) ~ vol.10 (2003)

金額：15,000円(送料込み)

校費扱い可

#### 申し込み締め切り：

2006年12月20日

発送：2007年1月(予定)

#### 申込方法：

申込者の連絡先、購入部数を事務局までメールでお知らせ下さい。メールの件名は「合本購入希望(氏名)」としてください。折り返し、ご連絡を差し上げます。メールアドレスは以下の通りです。

jlem@ryu.titech.ac.jp

## 会誌バックナンバー販売のお知らせ

1冊単位でも会誌バックナンバーの販売を行っております。金額は700円(1冊)+送料(実費)です。在庫にばらつきがございますので、まずは事務局までメールでお問い合わせください。在庫を確認の上、ご購入方法をご連絡致します。

## 連絡先をご存じの方 お知らせください

次の方々のご連絡先がわかりません。ご存じの方(もちろんご本人でも)、是非事務局までお知らせくだ

さい。よろしくお願いいたします。

(敬称略)

菅原 幸子 山口 真帆子  
金井 明生 森井 賀代子  
桜木 ともみ 浜脇 一菜  
池田 恵 奥川 育子

## 運営委員を募集いたします

現運営委員の任期は2007年3月までですが、ひきつづき、会を支えてくださる方を探しております。お気軽に、ぜひ、事務局までご一報くださいませ。

## 会費納入について

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者：日本語教育方法研究会

#### \* ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。また、氏名を先に後入力ください。印字の都合上、ご所属のみしか届かず、お名前が判明できない場合があります。

会費は3000円です。

2年間未納の場合は自動的に除名となります。ご自分の納入状況が不明の場合は、事務局までお問い合わせの上、期限前にお振込みください。

問い合わせ先：

[jlem@ryu.titech.ac.jp](mailto:jlem@ryu.titech.ac.jp)

発行：日本語教育方法研究会

url: <http://www.jlem.info/>

mail: [jlem@ryu.titech.ac.jp](mailto:jlem@ryu.titech.ac.jp)